平成27年度 財政学習講座 アンケート（第6回）

１．本日の講義について感想をお書きください。

A:市財政収支を見ると余裕のない運営であることが判った。運営見直しで市民サービスを低下させずに豊かな市づくりにどうすれば良いのかを人件費～建設等々を総合的に計画的に実績を積み上げなければと思う。

B:用語が不馴れで覚えにくかったが、次第によくわかるようになった。頂いた資料を活用したいと思う。

C:「行政改革大綱」がすでに 6 次出ている。成果は？・職員の年収は 400 万円で充分。市民平均の年収と合わせるべき。法律にも書いてある。・「真に」は「社会的弱者に」という考え方がいい。

D:大変参考になり良く理解出来た。

E:公共施設の適正配置について地域性、住民の年齢構成なども含めて必要性を考えてほしいと思います。施設の使用料は維持管理の必要があり当然払うべきものだと思います。

F:有意義な講座をありがとうございました。

G:6 回の講座で財政という視点で市の行政を見ることができました。結局は市民のニーズをいかに吸い上げるかということが大切になると思います。そのための仕組みを早く作っていく必要があると思います。ありがとうございました。

H:大変勉強になりました。

I:施設の老朽化が進み、2／3 の施設が 30 年以上経っているというのはかなり深刻な状況だと思う。前回のゲームでもわかったが、施設の統合、廃止を検討することになると思う。

J:情報公開と市民参加の具体的取り組みの大切さがわかりました。

K:この講座のおかげで君津のまちづくり、地域づくり全体に目を向けていかないといけないことがよくわかりました。個別に考えているだけでは住みよいまちづくりはできません。

L：居住していて知らない施設、利用したことも無い施設がはっきりしました。又いかにオーバーなサービスを我々は受けていたのかと反省もあるし、又早く見直しの必要がある事を再認識しました。少し賢くなり君津市の再生に協力していければと思っています。

M:半年間にわたりありがとうございました。君津市の取組と課題が大変分かりやすかったです。財政の見える化が大事であり、市民の皆様の理解と協力なくして改革はできないと感じた。

N:纏めとして挙げられた“役場は打ち出の小槌”ではないというフレーズに尽きると思います。小さな行政を常に指向しかつ利用者負担の比率を大きくして公平性を維持するよう市民の一人として活動していきたいと思います。改めて考える良い機会でした。

O:市の財政に関して知識を深めることができました。

P:公共施設の 1／3 が老朽化ということは早急に考慮する必要があると思われ財源はどの様に捻出する計画等問題山積かと思われます。高度成長期に造られたものが多いので。

Q:一市民の目覚めでございました。日々ボーっと暮らしてきた己が少しは成長いたしました。

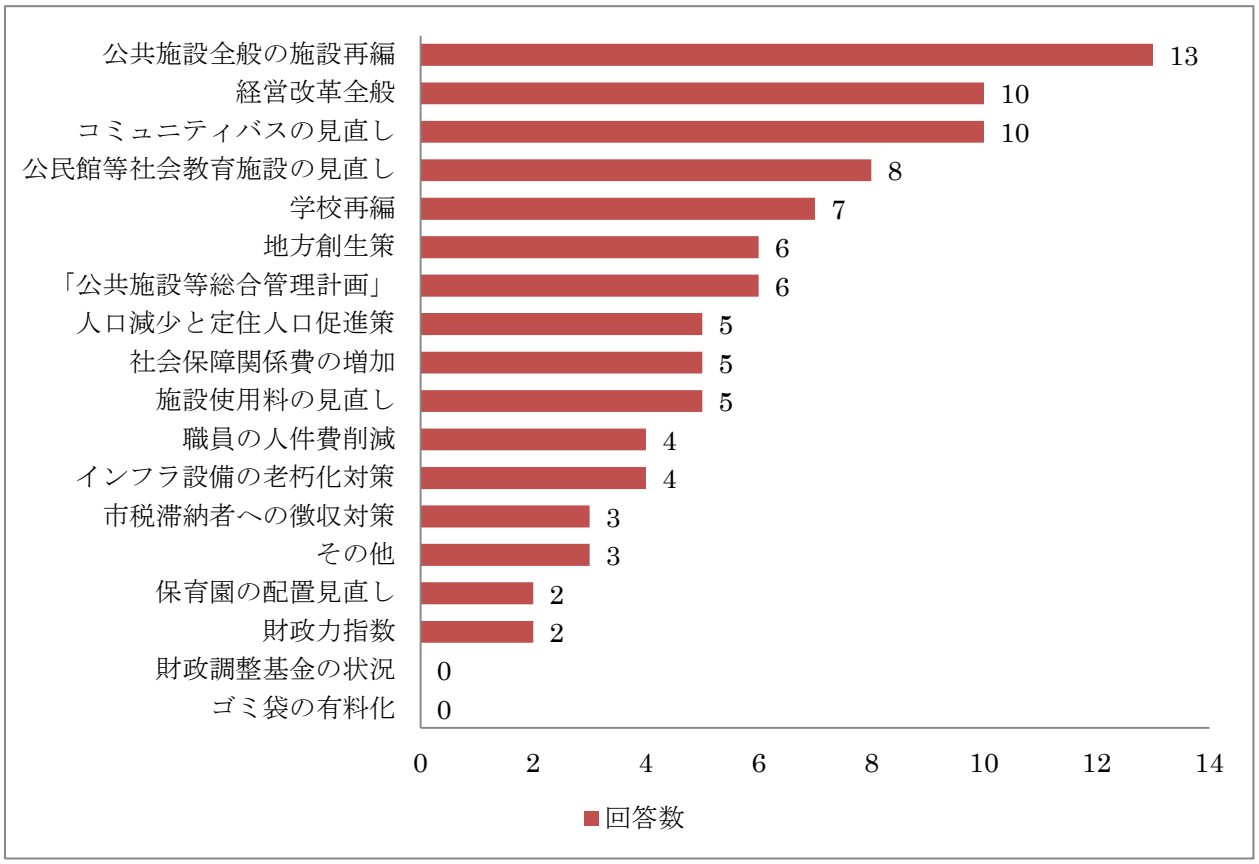
R:①企画して頂き感謝。②行政／財政に対する基本認識は出来た。③今後は市政、議会の動きをよりウォッチしていきたい。④関係活動団体の中でも情報発信。

S:今ある施設やサービスがいつまでも全て維持できるわけではなく、市民もそれを理解していく必要があると強く感じました。

T:行政と市民が今こそ一体となって「市」のあり方を考えていく必要があることを思いました。市には様々な情報を市民にしっかり伝えること、そのため情報を伝える方法を様々な手段で考えてほしい（コ

ンビニの前に大きな掲示板を作るなど)。そして市民を考えさせてほしいと思いました。
U:今までの講座内容を確認しながらお聴きしました。
V:①君津市の財政改革の視点が整理できた。②講師の大塚先生に厚く御礼申し上げたい。

2．君津市の財政又は行政改革（経営改革）について今どのようなことに関心をもたれていますか。該当するもの全てに〇をつけてください。



そのほか

- 文化ホールの行政改革
- 議員数の是非論
- 個別に考えるのではなく君津のまちづくりをきちんと考えた上で全体・地域ごとにも考えていかないと！いつ市民が関れるのか…

3．その他、講座に関してご意見等があれば自由にお書きください。

B:今後、藤井議員や平田議員さんに色々頼みたい。
C:市の財政の見方を学び、これからの市への要望などに反映させたい。とても勉強になりました。今後も少しずつ勉強していきます。
E:事業見直しの案がいろいろ考えられている様ですがいろいろ細かい事を数多くなることも必要ですが高額を算出するには今の民間の給料と比較して公務員の給料を一律 10%減額すればいちばん早いと思います。市民全員で痛み分けをしてがんばりましょう。ありがとうございました。
I:前回のゲームはとてもわかりやすくて楽しかった。
K:せっかくこの講座を受けた人たちが、まちづくりに参画できるようになると良いと思います。行政側が市民参加を求めないときは市民から働きかけなければならない。パブコメで出てくるのは最終案でい

くら意見を言っても変わらないタイミングです。もっと計画する前のタイミングで市民もかかわっていきたい。

L:インターネットで議事録ありがとうございます。八重原公民館は永久に続いて欲しい。

M:今後も様々な対象に対して開催いただけたらと思います。大塚先生、行政の皆様、有意義な学習講座を開催いただきありがとうございました。

N:君津市の台所事情の取っ掛かりがよく理解できました。財政基金を取り崩して単年度黒にしている事実は知っていたつもりですが黒字という会計を見て深刻には考えていませんでした。もう少し市民の一人として何ができるか考えていきたいと思います。

O:今後も続けて頂きたいと思います。

S:市民もただ住んでいるだけではなく、市に対して自分の払った税金がどう使われているのか知り、サービスの有難さを考えながら生活していかなければ…と思いました。わかりやすくすばらしい講座でした。大塚先生の講座がまたあればぜひ参加させていただきたいです。

T:このような講座を継続してほしいと思います。この講座で財政の姿がきちんと理解できました。また何を考えどう行動するかの基礎にもなり得ます。またこの講座生の有志で市のオンブズマン的な存在が作れればすごいなと思いました。

U:ありがとうございました。本講座生の自主学習として財政を学んだ上で、健全な財政にするために私たち市民と出来ることは何かを、話し合う機会が持てたらと思います。

V:何らかの形・方法で更に発展されることを望みます。